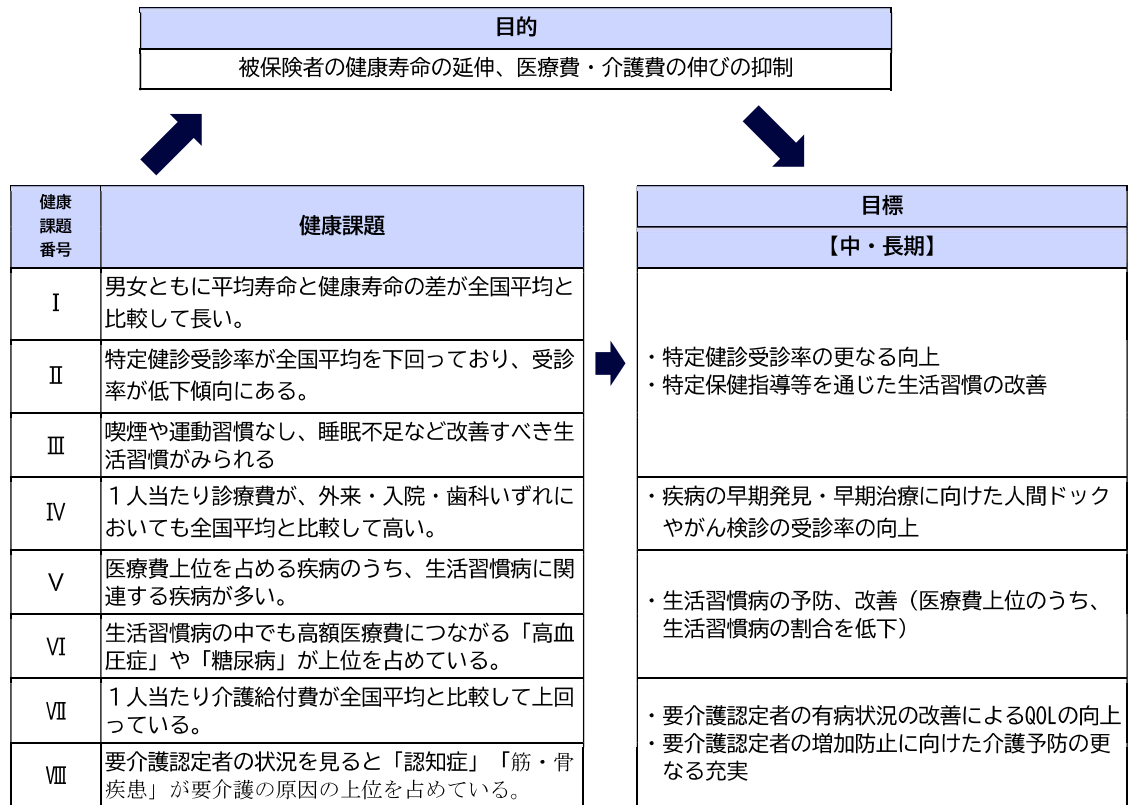


第2章 前期計画等に係る考察

1 健康課題・目的・目標の再確認

ここでは、第2期データヘルス計画に記載している健康課題、目的、目標について、それぞれのつながりを整理しながら記載する。



2 評価指標による目標評価と要因の整理

ここでは、第2期データヘルス計画における中・長期目標について、評価指標に係る実績値により達成状況を評価し、第2期データヘルス計画に基づき実施してきた保健事業が課題解決、目標達成にどう寄与したか振り返り、最終評価として目標達成状況や残された課題等について整理を行う。

実績値の評価（ベースラインとの比較）			
A：改善している	B：変わらない	C：悪化している	D：評価困難

(1) 中・長期目標の振り返り

健康課題番号	中・長期目標				評価指標			評価
I	・特定健診受診率の更なる向上				・特定健診受診率			B
II	目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
III	60.0%	24.1%	30.0%	24.7%	27.4%	26.5%	27.4%	28.3%

健康課題番号	中・長期目標				評価指標			評価
I	・特定保健指導等を通じた生活習慣の改善				・特定保健指導率			A
II	目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
III	60.0%	24.3%	33.3%	22.7%	26.5%	24.4%	26.5%	44.4%

健康課題番号	中・長期目標				評価指標			評価
IV	・疾病の早期発見・早期治療に向けた人間ドックやがん検診の受診率の向上				・特定健診受診率・がん検診受診率			B
	項目	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	胃がん検診	15.5%	-	18.1%	16.1%	16.4%	18.2%	16.6%
	肺がん検診	12.7%	13.0%	12.2%	13.1%	14.3%	15.7%	15.5%
	大腸がん検診	12.2%	13.3%	12.4%	13.7%	15.3%	15.7%	14.9%
	子宮がん検診	14.3%	15.4%	17.1%	15.6%	18.9%	22.6%	21.6%
	乳がん検診	19.1%	20.2%	19.0%	16.1%	20.2%	23.8%	23.9%

健康課題番号	中・長期目標				評価指標			評価
V	・生活習慣病の予防、改善（医療費上位のうち、生活習慣病の割合を低下）				・医療費全体における生活習慣病の医療費割合			A
VI	目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	-	-	-	17.4%	-	-	-	14.5%

健康課題番号	中・長期目標				評価指標			評価
VII	・要介護認定者の有病状況の改善によるQOLの向上				・介護認定率			B
	・要介護認定者の増加防止に向けた介護予防の更なる充実				・介護給付費			
	項目	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
VIII	介護認定率	17.5%	-	17.4%	18.2%	19.7%	20.4%	19.8%
	介護給付費	72,028円	-	75,587円	75,663円	78,080円	73,968円	67,887円

(2) 中・長期目標を達成についての評価

健康課題番号	中・長期目標	評価指標	評価					
I II III	・特定健診受診率の更なる向上 ・特定保健指導等を通じた生活習慣の改善	・平均寿命と健康寿命の差	D					
	目標達成に向けて実施した保健事業・取り組み		評価理由					
	・特定健診、後期高齢者健診後の結果報告会および家庭訪問 ・サロン事業（包括） ・100歳体操（包括） ・介護予防事業対象者把握の訪問（包括） ・転倒予防教室（包括）		・ベースライン時とH30以降は算出方法が変更 ・平均寿命と健康寿命の差は、男性は変化なし、女性は拡大					
	目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	-	男性15.0歳 女性20.3歳	-	男性1.2歳 女性2.4歳	男性1.1歳 女性2.6歳	男性1.3歳 女性2.9歳	男性1.2歳 女性3.2歳	男性1.2歳 女性3.7歳
	目標達成における推進要因		目標達成における阻害要因					
・包括支援センターで介護予防事業を各種展開し、身近な場所で通いの場が増えている。		・通いの場へ男性の参加が少なく、フレイルが進みやすい。また独居男性がサ高住等を希望する場合も多く、入居後に要介護度が上がる傾向あり。						

健康課題番号	中・長期目標	評価指標	評価					
I II III	・特定健診受診率の更なる向上 ・特定保健指導等を通じた生活習慣の改善	・特定健診受診率	B					
	目標達成に向けて実施した保健事業・取り組み		評価理由					
	・ホームページやQRコード等を活用した申し込み ・はがきやチラシ等による啓発活動 ・未受診者勧奨の実施		・リピーターが少ないため、検診連続受診者が定着せず、受診率は横ばい。					
	目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	60.0%	24.1%	30.0%	24.7%	27.4%	26.5%	27.4%	28.3%
	目標達成における推進要因		目標達成における阻害要因					
・はがきによる未受診者に対する勧奨。（R2～） ・若い世代を中心にネット申込数の増。		・R2は新型コロナウイルスの影響で集団健診夏の中止。 ・医療機関での個別健診が町民に浸透していない。 ・集団健診は早朝に実施、個別健診は土曜日は未実施のであり、若い世代が受診しやすい体制が整備されていない。						

健康課題番号	中・長期目標	評価指標	評価					
I II III	・特定健診受診率の更なる向上 ・特定保健指導等を通じた生活習慣の改善	・特定保健指導率	A					
	目標達成に向けて実施した保健事業・取り組み		評価理由					
	・健診結果相談会にて初回面談を実施 ・健診結果相談会未参加者への個別アプローチ（別日面談、訪問） ・継続支援を係で取り組む ・評価時期に合わせて相談会を実施（R5.3～）		・H20年開始当時は60～70%の実施率の時もあったが、低迷が続いている。					
	目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	60.0%	24.3%	33.3%	22.7%	26.5%	24.4%	26.5%	44.4%
	目標達成における推進要因		目標達成における阻害要因					
・集団健診からの対象者には初回面談は全員実施		・初回面談後の支援継続の体制ができていない。 ・人間ドック、個別健診、みなし健診からの対象者には特定保健指導が未実施。						

健康課題番号	中・長期目標	評価指標					評価	
IV	・ 疾病の早期発見・早期治療に向けた人間ドックやがん検診の受診率の向上	・ 特定健診受診率・がん検診受診率					B	
	目標達成に向けて実施した保健事業・取り組み						評価理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページやQRコード等を活用した申し込み ・ はがきやチラシ等による啓発活動 ・ 未受診者勧奨の実施 ・ 精密検査未受診者への受診勧奨 						<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診は、コロナ禍でも個別受診勧奨はがきを送付。大きな受診率の落ち込みは無く全国・全道と比較しても高い 	
		ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	胃がん検診	15.5%	-	18.1%	16.1%	16.4%	18.2%	16.6%
	肺がん検診	12.7%	13.0%	12.2%	13.1%	14.3%	15.7%	15.5%
	大腸がん検診	12.2%	13.3%	12.4%	13.7%	15.3%	15.7%	14.9%
	子宮がん検診	14.3%	15.4%	17.1%	15.6%	18.9%	22.6%	21.6%
	乳がん検診	19.1%	20.2%	19.0%	16.1%	20.2%	23.8%	23.9%
目標達成における推進要因					目標達成における阻害要因			
<ul style="list-style-type: none"> ・ QRコード導入により、受診申し込みが簡易になった。 ・ 集団がん検診の要精密検査対象者のうち、未受診者には個別で電話による受診勧奨を実施した。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診の要精密検査状況が把握できない委託医療機関がある。 			

健康課題番号	中・長期目標	評価指標					評価	
V VI	・ 生活習慣病の予防、改善（医療費上位のうち、生活習慣病の割合を低下）	・ 医療費全体における生活習慣病の医療費割合					A	
	目標達成に向けて実施した保健事業・取り組み						評価理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診 ・ がん検診 ・ 健康相談 ・ 健康教育 ・ 糖尿病性腎症重症化予防 ・ 健康運動教室（～R3） ・ 健診結果の広報周知 ・ 野菜摂取レシピの配布 ・ 広報紙に健康（栄養）記事を掲載 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎疾患では患者数1位は高血圧、医療費1位は糖尿病である。狭心症等の重症化した疾病の割合は国と比較すると低い状況である。 	
		目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	-	-	-	17.4%	-	-	-	14.5%
目標達成における推進要因					目標達成における阻害要因			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳ドック、特定健診の結果では高血圧2度以上の人は少なく、脳血管疾患による要介護認定申請者も少ない。 ・ 集団健診では高血糖の人が多く、保健指導に力を入れて実施。 ・ 町の透析の原因は糖尿病よりも慢性腎炎、高血圧性の人が多い。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診結果では肥満が多く、この肥満がベースとなり高血糖、高血圧に影響を与えている。 ・ 肥満の原因の1つに運動不足、間食、飲酒量がある。 ・ 運動のきっかけづくりに集団指導を実施したが、参加者の意識は高まったが、固定層の参加となり、町民全体に拡大できなかった。 ・ 75歳以上では、軽度の肥満+高血圧に人が慢性心不全等を発症し、要介護になるケースが多い。また、膝腰の痛みから外出頻度が減り、フレイルへ移行する人もいる。 			

健康課題番号	中・長期目標	評価指標						評価
VII VIII	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定者の有病状況の改善によるQOLの向上 要介護認定者の増加防止に向けた介護予防の更なる充実 	<ul style="list-style-type: none"> 介護認定率 介護給付費 						B
	目標達成に向けて実施した保健事業・取り組み						評価理由	
	<ul style="list-style-type: none"> サロン事業（包括） 100歳体操（包括） 介護予防事業対象者把握の訪問（包括） 転倒予防教室（包括） 						<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定率は国より高く、道より低い。介護給付費は国・道より高い。特に居宅が高く、サ高住の利用が背景にある。施設給付費は低めである。 	
		ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護認定率	17.5%	-	17.4%	18.2%	19.7%	20.4%	19.8%	
介護給付費	72,028円	-	75,587円	75,663円	78,080円	73,968円	67,887円	
目標達成における推進要因				目標達成における阻害要因				
・評価指標「平均寿命と健康寿命の差」と同様				・評価指標「平均寿命と健康寿命の差」と同様				

(3) 第2期データヘルス計画の総合評価

<p>第2期計画の総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平均自立期間は、女性は延伸しているが、男性は短くなっている。この5年間で自宅の近くで参加する介護予防事業が増え、女性の参加者が増えていることが関係している。しかし、男性は地域への社会参加を好まない傾向から、フレイルになりやすく、また家事等に支障をきたすとサ高住に入所を求める傾向がある。これが居宅の介護給付費が高い原因となっている。 ○特定健診受診率は低いままで改善できなかった。個別健診受診者が低迷、リピーターが少ない、また40～50歳代の受診率が低いことが課題。通院先での受診のしやすさ、予約のしやすさ、40～50歳代が受けやすい健診体制を作る必要がある。 ○1人当たりの診療費（医療費）は外来は道・国より高いが、入院はどちらも低くなっている。また医療費全体のうち生活習慣病が占める割合も道・国より低い状況。基礎疾患はあるが重症化に至らずコントロールできている人が多いことが予想される。これには医療の管理、住民の自己管理はもちろん、それを支える脳ドック、心血管ドックの実施、またハイリスクだけを優先せずにメタボ予備軍、非肥満者・高血糖者等へ個別面談、要医療者の受診勧奨実施、通院・服薬管理が自立できない人には介護サービス導入なども行ってきた。津別町国保は、基礎疾患では高血圧が多く、健診結果ではメタボ予備軍が多い。重症化した生活習慣病に大きな特徴は見えないが、高齢者になると肥満傾向にある人が慢性心不全で入院、膝や腰の痛みで要介護、閉じこもりから認知機能低下になる様子がわかってきた。 ○肥満の原因にはすぐに車を使う等の運動不足があり、運動習慣獲得のきっかけ作りのために教室を開催。参加者には効果が見られたが、参加者は固定化され、町民全体に拡大できなかった。今後は健康や運動に対する意識が高くない層を大切に活動が必要。また、肥満の原因になるような食事の特徴が把握できていない。
<p>残された課題 (第3期計画の継続課題)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○死亡原因では心疾患が多く、また糖尿病性腎症治療者が増えてきている。 ○特定健診を受ける人が少ない。農家さんは比較的受けているものの、40～50代の生活背景から、どのような健診体制が必要なのか検討する。 ○車移動が主であり、運動習慣が無いため肥満が多い。特に男性は血糖が血圧に該当するメタボ予備群が多い。 ○上記の肥満、高血糖、血圧の保健事業に必要な津別町の食事の特徴が把握できていない。 ○後期高齢になると肥満+高血圧のため、慢性心不全→入院→要介護の様子が見えたので、肥満だけではなく高血圧の発症予防、重症化予防できるような保健事業の展開が大切。 ○肥満が影響した膝・腰の痛みにより、生活習慣病重症化予防、介護予防のために必要な運動や社会参加ができない人がいる。
<p>健康課題の優先順位付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○死亡原因では予防可能な疾患として心疾患が多く、ベースには高血圧を有している人が多い。また、要介護認定の原因疾患としては認知症や筋骨格系疾患が多いものの、その背景に肥満や慢性心不全等の悪化があることが分かった。後期高齢者に移行する前に肥満を改善し、血圧のコントロールができることが大切である。なお、脳血管疾患については現在のところ患者数や死亡原因としては大きな課題は無い様子だが、今後もデータには注目していく。 ○また、運動する習慣がない人が多く、特に男性の肥満が多い。肥満が、血圧や血糖値が上昇する原因となっている様子がある。 ○健診結果でも血糖値の有所見者が多いが、実際に糖尿病性腎症の診断がついている人も増えてきている。 ○健診を受ける人が少なく、せっかく受けても継続受診に結びついていない。健診を受けることで自分の体の状態を知り、生活改善や必要な医療に結びつくきっかけとなるが、そこに至る人が少ない状況である。 <p>第2期では、肥満がないものの血糖値が保健指導判定値以上の住民にも比較的力を入れて保健指導を実施してきた。現在も血糖値の有所見該当者が多い状況は続いている。しかし前述のとおり、「肥満」、「血圧」が当町にとって、後期高齢世代にも影響を与えていることに今回気が付いた。よって第3期ではこの2点を健康課題として取り上げることとした。また血糖値については、これまでの軽度上昇者に対する生活改善よりも、すでに糖尿病治療開始している住民が糖尿病性腎症へ進行することを予防する方向で取り組むこととした。</p>
<p>第3期計画の重点課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高血圧が重症化し、心疾患を発症している人が多い ○糖尿病性腎症治療中の人が増えてきている ○特定健診の受診者が少なく、自分の体の状態を知らない人が多い ○運動が習慣化していない、間食、飲酒に課題があり特に男性の肥満が多い

3 個別保健事業評価

ここでは、健康課題、目標に紐付けた重点的な事業の評価を行う。

事業目標の達成状況について、計画期間中の実績値や事業実施状況により評価し、質的情報も踏まえた要因の明確化や、次期計画に向けた事業の改善策の整理を行う。

実績値の評価（ベースラインとの比較） A：改善している B：変わらない C：悪化している D：評価困難
事業全体の評価 1：うまくいった 2：まあ、うまくいった 3：あまりうまくいかなかった 4：まったくうまくいかなかった 5：わからない

事業名		事業目標				事業全体の評価		
特定健診		生活習慣病の早期発見・早期治療。受診率のさらなる向上を目指す。				3		
評価指標（アウトカム・アウトプット）					評価指標以外の実績			
特定健診受診率					-			
目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価
60.0%	24.1%	30.0%	24.7%	27.4%	26.5%	27.4%	28.3%	B
事業の成功要因		事業の未達要因				今後に向けた事業の改善案（継続・強化・修正する内容など）		
<ul style="list-style-type: none"> ・はがきによる未受診者に対する勧奨。 ・若い世代を中心にネット申込数の増。 		<ul style="list-style-type: none"> ・R2は新型コロナの影響で集団健診夏の中止。 ・医療機関での個別健診が町民に浸透していない。 ・集団健診は早朝に実施、個別健診は土曜日は未実施のであり、若い世代が受診しやすい体制が整備されていない。 				<ul style="list-style-type: none"> ・通院者対策 ・健診時間、曜日の検討 ・健診日に来年度の予約受付 		

事業名		事業目標				事業全体の評価		
特定保健指導		メタボの減少による生活習慣病リスクの低下を目的として、保健指導を実施。実施率のさらなる向上を目指す。				3		
評価指標（アウトカム・アウトプット）					評価指標以外の実績			
特定保健指導実施率					-			
目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価
60.0%	24.3%	33.3%	22.7%	26.5%	24.4%	26.5%	44.4%	A
事業の成功要因		事業の未達要因				今後に向けた事業の改善案（継続・強化・修正する内容など）		
<ul style="list-style-type: none"> ・集団健診からの対象者には初回面談は全員実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・初回面談後の支援継続の体制ができていない。 ・人間ドック、個別健診、みなし健診からの対象者には特定保健指導が未実施。 				<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導体制の基本プログラム検討 ・現在の評価のための相談会は継続 ・集団健診以外の特定保健指導対象者への保健指導の検討 		

事業名		事業目標				事業全体の評価			
糖尿病性腎症重症化予防		糖尿病による腎症及び透析を予防する。				5			
評価指標（アウトカム・アウトプット）				評価指標以外の実績					
-				-					
目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価	
-	-	-	-	-	実績なし	実績なし	実施	D	
事業の成功要因		事業の未達要因			今後に向けた事業の改善案（継続・強化・修正する内容など）				
<ul style="list-style-type: none"> R4の実施は1名のみだが、支援により生活習慣の改善がみられた。継続的に関わることの必要性をスタッフも感じた。 		<ul style="list-style-type: none"> 以前から実施計画はあったが、実践できず、個別支援の実績はR4のみ。 			<ul style="list-style-type: none"> 支援体制の整備確立させる 病院の協力を得る 事業の評価指標決定（係、病院） 対象者の把握と支援対象の選定 				

事業名		事業目標				事業全体の評価			
がん検診		がんの早期発見・早期治療を目的として実施。受診率の向上を目指す。				2			
評価指標（アウトカム・アウトプット）				評価指標以外の実績					
がん検診受診率				精密検査受診率					
	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価	
胃がん検診	15.5%	-	18.1%	16.1%	16.4%	18.2%	16.6%	B	
肺がん検診	12.7%	13.0%	12.2%	13.1%	14.3%	15.7%	15.5%		
大腸がん検診	12.2%	13.3%	12.4%	13.7%	15.3%	15.7%	14.9%		
子宮がん検診	14.3%	15.4%	17.1%	15.6%	18.9%	22.6%	21.6%		
乳がん検診	19.1%	20.2%	19.0%	16.1%	20.2%	23.8%	23.9%		
事業の成功要因		事業の未達要因			今後に向けた事業の改善案（継続・強化・修正する内容など）				
<ul style="list-style-type: none"> QRコード導入により、受診申し込みが簡易になった。 集団がん検診の要精密検査対象者のうち、未受診者には個別で電話による受診勧奨を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> がん検診の要精密検査状況が把握できない委託医療機関がある。 			<ul style="list-style-type: none"> はがきによる個別再勧奨の実施 精度管理の向上 精密検査受診率の向上 				

事業名		事業目標				事業全体の評価			
健診結果相談会		生活習慣病の予防、改善を目指す				2			
評価指標（アウトカム・アウトプット）				評価指標以外の実績					
-				-					
目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価	
-	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	D	
事業の成功要因		事業の未達要因			今後に向けた事業の改善案（継続・強化・修正する内容など）				
<ul style="list-style-type: none"> 相談会対象の基準を設定。特に重点として血糖値、腎機能を中心に実施。 結果相談会の来所率は高く、欠席でも別日や訪問等で支援。 相談会後にスタッフカンファレンスを実施し、課題の共有や支援内容の確認を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 要医療、要精密検査対象者のうち、医療に結びついたのは68%だった。（R4） 			<ul style="list-style-type: none"> 効果的な指導内容の協議が必要。 指導技術の向上。 要医療、要精密検査対象者の医療受診率向上。 				

事業名		事業目標				事業全体の評価			
健康運動教室 (アンチエイジング教室、 60歳代の筋力アップ教室)		健康増進に関する正しい知識の普及 と、運動習慣のきっかけをつくる。				3			
評価指標 (アウトカム・アウトプット)					評価指標以外の実績				
-					-				
目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価	
-	-	実施	実施	実施	実施	休止	休止	D	
事業の成功要因			事業の未達要因			今後に向けた事業の改善案 (継続・強化・修正する内容など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・実施当初は新規参加者が多く、参加をきっかけにして健診や医療受診につながる人がいた。 ・運動等の生活改善のきっかけとなった。 			<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターが多くなり、新規参加が増えなくなった。健康意識が高い人が多く、R3より休止し見直した。 			<ul style="list-style-type: none"> ・目的、対象者の見直し ・社会教育主催の運動教室と目的、役割の違いを確認 			

事業名		事業目標				事業全体の評価			
健康づくり啓蒙活動 (季節の野菜レシピ配布、 適塩みそ汁試飲会)		野菜摂取量増加、減塩を目的とし知識の普及				5			
評価指標 (アウトカム・アウトプット)					評価指標以外の実績				
-					-				
目標値	ベースライン	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実績値評価	
-	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	D	
事業の成功要因			事業の未達要因			今後に向けた事業の改善案 (継続・強化・修正する内容など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・普段の保健事業に参加しない人にも健康の知識を伝えるきっかけとなった。 			-			<ul style="list-style-type: none"> ・次期の健康課題に沿った内容の見直し ・評価指標の設定 			